



# 指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『ワインレッドの心』



校長 おおこうちのりかず 大河内 範一

日本各地から雪だよりが届くと胸が高鳴ってくる。「スキーシーズン」という素敵な季節の始まりだからだ。まあ、近年はスキーに行く頻度は激減してしまったが、美しく整備された朝一番のゲレンデに、シュプール(スキー滑走の軌跡)を描いている姿を想像するとウキウキしてくる。2月の館岩でパウダースノーに出逢えることを、今から楽しみにしている。

スキーは高校から始めて夢中になったのだが、大学時代に「スキー実習」という合宿のような講座があり、自分のレベルアップを目指して参加することにした。疲れが溜まる実習期間終盤に、猛吹雪の中で活動する日があった。途中、疲労と寒さで震えている時、ロッジで休憩することになった。自分たちの担当だったコーチが「ここのロシアンティーが美味しいんだよ」と、実習生にごちそうしてくれた。初めて聞いた名称だったが、紅茶にストロベリージャムを溶かした飲み物だった。ワインレッド色の温かい飲み物は、疲れを吹き飛ばし、吹雪に負けず頑張れる力を湧き起こしてくれた。その甘酸っぱい味は今でも鮮明に覚えている。

《注1：ロシア本国で飲まれている紅茶は、必ずしもジャム入りではないらしい》

苦しい時や悲しい時、ちょっとしたことで勇気が湧いたり、気分転換できたりすることがある。このスキー実習では飲み物だったが、それが人の言葉掛けやアドバイスであることもある。何気ない表情や佇まいでも効果的かもしれない。

そんなスキー愛好家の私であるが、初めて3年生の担任をした時には、クラスの生徒全員の進路が決定するまではスキーを封印しようと決意した。願掛けのために一番好きなことを我慢すること、また、「滑る」という行為が受験にとって縁起が悪いということが理由である。若かりし頃、熱い思いを秘めて受験指導をしていた懐かしい思い出が、スキーシーズンになると時々蘇ってくるのである。

《注2：3年の担任も2回目以降になると、気にせずスキーに行っていた》

さて、3年生は進路決定に向けて、いよいよ勝負の時を迎える。今まで努力してきた成果が十分発揮できるように、そして、自分が納得する進路になるように心から祈っている。もし疲れを感じたら、ぜひロシアンティーを作って飲んでみてはいかがでしょうか。頭と心をちょっと休めて、活力を取り戻してほしい。

最後になりますが、皆様、新春のお慶びを申し上げます。本年も笑顔いっぱい、幸せいっぱいの一年になりますように！